

科目区分	専門教育科目	授業科目名	フィールドワーク			科目コード	24L503	担当者	濱口 なぎさ、森 弘行、武藤 玲路、江頭 万里子			担当形態	複数	
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	1年次・2年次	開講学期	通年	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	演習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	学内外のプロジェクト等を通して、課題の解決策を企画検討し、同じ活動に参加する他者と協働して取り組む。これらの経験を通して、社会に貢献する活動力を獲得する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	活動前後にガイダンスを行い指導する。
授業の方法	学外を含む30時間相当以上の活動	アクティブ・ラーニングの実施方法	実習先で見学学習、体験学習、グループ・ディスカッション、グループ・ワークを行う。

授業計画		事前・事後学修	
<p><序盤></p> <ul style="list-style-type: none"> ○テーマの決定 ○情報収集・資料収集 ○企画立案・活動計画 <p><中盤></p> <ul style="list-style-type: none"> ○現地取材、作品作成、写真・ビデオ撮影、ホームページ作成など ※実働5日間 ○活動報告書の作成 ○プレゼンテーションの準備 <p><終盤></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発表会のリハーサル ○全体発表会 ○活動の総括、振り返りシートの記入 		<p><毎週></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料収集、企画運営、現地取材、作品・報告書の作成、発表会の準備等に180分 	
		事前・事後学修時間	45分

教科書 [書名/著者名/出版社]	必要に応じてプリントを配付する。	受講生へのメッセージ	実際に活動することで、自分自身の課題や社会の問題点に気づき、これを追究することでさらなる成長へと進むことができるはず。皆さんの積極的な参加を期待します！
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S: 100~90%)	レベル4 (A: 89~80%)	レベル3 (B: 79~70%)	レベル2 (C: 69~60%)	レベル1 (F: 59%以下)
観点	尽心	① 学習意欲	50					50	授業への参加意識が欠如することなく、向上心を持って真面目に受講することができる。	勤働性 真面目さ 自己管理能力	参加意識	欠如0回で50点。	欠如1回で40点。	欠如2回で30点。	欠如3回で20点。	欠如4回で10点。	
		② 規律性	10					10	私語や居眠りをする事なく、人として守るべき善悪や是非の判断ができる。	職業倫理 ルール 社会性	受講態度	注意0回で10点。	注意1回で8点。	注意2回で6点。	注意3回で4点。	注意4回で2点。	
	知識・技能	③ 知識															
		④ 技能															
	創造	⑤ 情報活用能力															
		⑥ 課題解決力															
	表現	⑦ 言語活用能力	10				10		実習内容に関する活動や成果について、的確な文章表現や文章構成ができる。	文章表現力 文章構成力	実習課題 実習日誌 実習報告書	実習内容の90%以上を理解して記述できる。10点。	実習内容の80%以上を理解して記述できる。8点。	実習内容の70%以上を理解して記述できる。6点。	実習内容の60%以上を理解して記述できる。4点。	実習内容の50%以上を理解して記述できる。2点。	
		⑧ コミュニケーション力	10				10		実習内容に関する活動や成果について、的確なプレゼンや意思伝達ができる。	意思伝達力 プレゼン力	実習報告 全体報告会	実習内容の90%以上を理解して説明できる。10点。	実習内容の80%以上を理解して説明できる。8点。	実習内容の70%以上を理解して説明できる。6点。	実習内容の60%以上を理解して説明できる。4点。	実習内容の50%以上を理解して説明できる。2点。	
	実践	⑨ 主体性	10					10	実習内容に対して、主体的・自主的に取り組むことができる。	自主性 行動力	実習先評価	実習の90%以上に主体的に取り組むことができる。10点。	実習の80%以上に主体的に取り組むことができる。8点。	実習の70%以上に主体的に取り組むことができる。6点。	実習の60%以上に主体的に取り組むことができる。4点。	実習の50%以上に主体的に取り組むことができる。2点。	
		⑩ 協働性	10					10	実習内容に関する他者の意見や感情を理解し、チームワークで取り組むことができる。	他者理解 チームワーク	実習先評価	実習の90%以上にチームワークで取り組むことができる。10点。	実習の80%以上にチームワークで取り組むことができる。8点。	実習の70%以上にチームワークで取り組むことができる。6点。	実習の60%以上にチームワークで取り組むことができる。4点。	実習の50%以上にチームワークで取り組むことができる。2点。	
合計			100			10	10	60	20								